科目名	卒業制作							年度	2026
英語科目名	Graduation production							学期	後期
学科・学年	ＡＩシステム科　２年次	必／選	必	時間数	180	単位数	8	種別※	実習
担当教員	末吉　竜介		教員の実務経験		有	実務経験の職種		システムエンジニア	

【科目の目的】

学科で学んださまざまな知識や技術を基に、総括として目的を持ったアプリケーション・システムを制作する。グループごとに作業に取り組み、自ら必要なことを学びつつ、他のメンバーと協力しあいながら、これから社会人として必要とされる協調性やコミュニケーション力を身に着ける。プロジェクトを進める上で必要なスケジュール管理、課題管理、情報管理などを意識しながら、個人ごとの作業状況を把握し、複数の人間が関わる実務に近い開発の体験を行うことを目的とする。

【科目の概要】

グループを作成し、テーマを１つ決め目的を持った作品を制作する。まず、実装する機能やメンバーの役割分担、スケジュールなどの決定を行い、その後、設計書を作成しプログラミングを行う。

【到達目標】

学んだ知識や技術を集約し、グループで協力しながら１つの作成を制作し、卒業展で発表することが目的となる。一人で作業するだけではなく、他のメンバーと協力・連携をすることを意識しながらスケジュール通りに作業をすることができるようになる。コミュニケーションの重要性を理解し、自分のことだけではなく、他のメンバーの状況を確認しながら必要であれば軌道修正を行い、作業ができるようになる。また作業期間が決まっているため、期間内に決められた目標を達成できる能力を身に着ける。

【授業の注意点】

授業開始時にグループを作成し、そのグループでテーマを決め、最後まで作業を行う（途中でのグループ変更はできない）授業で必要となる資料はグループ単位で準備すること。計画と役割分担はしっかり行い、バランスを取ること。評価はグループ単位で行うため、メンバーそれぞれが責任を持って作業をすること。総授業時間の４分の３以上出席していない場合、評価対象にならない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル３ 優れている	レベル２ ふつう	レベル１ 要努力
到達目標 A	グループワークに必要な協調性を身に着けている	グループワークに必要な協調性の重要度を理解している	グループワークに必要な協調性を身に着けていない
到達目標 B	グループワークに必要なコミュニケーション力を身に着けている	グループワークに必要なコミュニケーション力の重要性を理解している	グループワークに必要なコミュニケーション力を身に着けていない
到達目標 C	目標達成に向けた計画を立案する能力を身に着けている	目標達成に向けた計画を立案する能力の重要性を理解している	目標達成に向けた計画を立案する能力を身に着けていない
到達目標 D	グループで意見を出し集約する方法を身に着けている	グループで意見を出し集約する方法の重要性を理解している	グループで意見を出し集約する方法を身に着けていない
到達目標 E	計画通りのアプリケーションを制作できる実装力を身に着けている。	計画したアプリケーションを部分的に制作できる実装力を身に着けている	アプリケーションを制作できる実装力を身に着けていない

【教科書】

グループごとに必要な資料を各自用意する

【参考資料】

無し

【成績の評価方法･評価基準】

以下の事項を総合的に評価する。
･課題の提出状況、課題から判断する授業理解度、授業出席率、授業への参加態度

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	卒業制作	年度	2025
英語表記	Graduation production	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	スケジュールの説明と設定	今後のスケジュールを確認し、グループと個人のスケジュールを設定できる	1	全体計画決め	プロジェクト全体の計画を決定する	3	
			2	個別計画決め	役割ごとの計画を決定する		
2	グループごとに作業(1)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1	全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2	個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3	技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
3	グループごとに作業(2)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1	全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2	個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3	技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
4	グループごとに作業(3)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1	全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2	個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3	技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
5	グループごとに作業(4)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1	全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2	個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3	技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
6	グループごとに作業(5)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1	全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2	個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3	技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
7	グループごとに作業(6)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1	全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2	個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3	技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
8	グループごとに作業(7)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1	全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2	個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3	技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
9	グループごとに作業(8)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1	全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2	個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3	技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
10	グループごとに作業(9)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1	全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2	個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3	技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
11	グループごとに作業(10)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1	全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2	個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3	技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
		グループごとに作業を行	1	全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す		

12	グループごとに作業(11)	い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	2	個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す	3	
			3	技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
13	グループごとに作業(12)	グループごとに作業を行い、制作を進める。終了時には報告書を作成し、提出できる	1	全体計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、全体計画を見直す	3	
			2	個別計画のレビュー	計画と現在の差異を確認し、個別計画を見直す		
			3	技術調査	制作に必要な技術を調査し実装する		
14	プレゼンテーション(1)	ここまでの作業状況を資料にまとめ、グループごとに発表を行う	1	発表資料の作成	資料にもとづきプロジェクトについて発表する	3	
			2	発表の聴講	聴講する姿勢を理解する		
			3	発表資料の改善	他チームの発表を聞き、自己の発表内容を改善する		
15	プレゼンテーション(2)	ここまでの作業状況を資料にまとめ、グループごとに発表を行う	1	発表資料の作成	資料にもとづきプロジェクトについて発表する	3	
			2	発表の聴講	聴講する姿勢を理解する		
			3	発表資料の改善	他チームの発表を聞き、自己の発表内容を改善する		
評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							